



明治大学野球部

主将

柳 やなぎ

裕也 ゆうや

投手



風景

応援してくれるみんなへの感謝こそが、
自分の野球の原動力！

明治大学野球部の球場（内海・島岡ボールパーク）。場内に足を一步踏み入れると、「こんにちは」と部員たちの元気な声が響きます。その中でもひとときわ輝く笑顔で迎えてくれたのが、プロ野球ドラフト会議で、中日ドラゴンズから1位指名された明治大学野球部主将の柳裕也投手（小松原中卒）です。

小学3年生で志比田スポーツ少年団に入部した時から、プロ野球選手になるのが夢だった柳投手。「亡き父や見守ってくれる母の支えがあった。ここまで来れたのは、素晴らしい指導者や仲間にも、ずっと恵まれてきたから」と話します。

小学生時代に全国優勝、中学生時代にリトルシニア野球日本代表として9カ国対抗全米選手権大会に出場し、優勝した柳投手。その後、全国屈指の強豪校横浜高校に進学し、3度の甲子園出場を果たしました。

明治大学ではエースとして東京六大学リーグで活躍。日本代表としてもユニバーシアード大会や日米大学野球選手権大会に出場して優勝するなど、数々の実績を残しています。その実績とともに将来を期待され、今回1位指名された柳投手は「プロになる夢がかなって嬉しい。でも、ここからが厳しい世界。気を引き締めて頑張りたい」と日々トレーニング



グに励んでいます。

「やりたい、実現したいと強く思い努力していると、両親だけでなく、周りにもいる人達も応援し、支えてくれた。尊敬するリトルシニアの平川弘監督との出会いも、全国、世界への扉を開いてくれるものだった」と思い返します。

小学生の時から周りの期待を常に背負いながら、野球と向き合ってきた柳投手。「自分は周りの期待を奮起する力に変えられるタイプ。今後、1軍の座を勝ち取り活躍することが、応援してくれる皆さんの人への恩返しになる」と力強く話します。

最後に「常に周りの人への感謝の気持ち忘れず、目標を高く持つてがんばってほしい」と都城の子ども達にエールを送ってくれました。